

# 今年の主役は



# 私たち

## 将来に誇ることができる町築く



訓子府町  
議会議員  
橋本 憲治

皆さま、明けましておめでとうございます。輝かしい平成22年の新春を迎え、日ごろから町政に対するご理解とご支援に対し深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、自民党政権から民主党中心の連立政権に交代し、事業廃止や縮小、補助金の見直し、特別会計の精査など国の予算や制度を見直す行政刷新会議による事業仕分けなど新しい取り組みがスタートしています。

経済は、金融危機以降の影響がいまだに続き、景気の回復が遅れ、日々の暮らしを圧迫しているところに11月には政府によるデフレ宣言や急激な円高により、景気の先行きが一層懸念されています。

それに伴い、地方行財政を取り巻く状況は一層厳しさを増していましたが、町の大きな財源であります地方交付税が、若干回復したことに加え、国の経済危機対策などにより、財政が幾分持ち直してきているところですが、今後、地方交付税については、大幅な削減も予想されます。

そのため行政改革プランや財政健全化戦略プランにより、歳入および歳出のさらなる見直しを図り、町の自立そして協働のまちづくりを模索した1年になりました。

今年も本町では、町、議会、そして町民と、町全体が丸となり、町政の抱えている問題の解決に向け、継続した取り組みをしていくこととなります。

町議会におきましても、将来に誇ることができる訓子府町を築き上げていくことが議会に与えられた使命であると考え、町政の諸問題を慎重に審議し、町民の皆さまの期待に沿うよう努力する決意です。

また、議会としては、任期の半分を折り返している時期でもあり、議会の活性化を図るため、各種研修などを重ね、最大の目標である町民の方へ議会の報告を行う「議会報告会」の開催をめざし、検討を進めているところです。

今後とも、皆さまのより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

昭和61年生まれ  
林 慎也さん(駒里)



農作業で、昨年雨が多すぎて畑がぬかるむなど、小麦やビートなどの農作物の取り入れを手作業で行うことが多かったですね。とても大変な年でした。今年、4日クラブや訓青協の活動をさらに活発にする年にしたいと思います。

# 寅 とら どし 年

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。今年「寅年」です。12年に一度迎える年男、年女の方に新年の抱負などをうかがいました。



高橋 健人くん  
(東幸町)

宿泊学習でみんなと一緒に花火をしたことが楽しい思い出として残っています。今年、サッカー少年団のスターティングメンバーになるために練習をがんばります。



石神 莉子さん  
(日出)

宿泊学習で火おこしをしたことや、みんなでカレーを作ったことが昨年の楽しかった思い出です。動物が好きなので将来はペットトリマーになるのが夢です。

昭和37年生まれ  
今野 浩美さん  
(大谷)



第一、昨年就農した息子の力も借り経営が安定することを願ひ、年末に良い1年だったと言えると思います。

昭和49年生まれ  
福田みずほさん  
(清住)



3人の子どもの成長に目を見張った昨年でした。特に長男と長女がロードレースで1位になったことがうれしかったです。今年、良い出来秋を迎え、家族みんなが健康で楽しく過ごせたらいいですね。



磯谷 梨花さん  
(末広町)

昨年の運動会は、徒競走で一位になることができました。とてもうれしく一番の思い出になりました。そろばんを習っているのですが、今年4級を取ることが目標です。



島貫 千晴くん  
(日出)

昨年は、宿泊学習でいかなどカヌーに乗ったことが思い出に残っています。今年、6年生になるので、苦手な英語を話せるようにがんばりたいと思います。

昭和13年生まれ  
岩渕 昭さん  
(東町)



還暦から12年がたちましたが、早かったですね。昨年は病気もせず、良い1年でした。

昭和25年生まれ  
山田 忠茂さん  
(東幸町)



昨年は大きな病気もせず健康で、仕事の面では不景気の中でも順調でした。今年、還暦を迎えますが、特に実感はわかりません。これまでのように健康で、仕事も今のまま順調に進むことを願います。



柴田 千友くん  
(柏丘)

昨年、訓小スクールのバンドに入っています。今年、さらに上達できるようにがんばろうと思っています。野球が好きなので、将来はプロ野球選手になりたいです。



荒閑 怜美さん  
(東幸町)

昨年の楽しかった思い出は、遠足でモイワスポーツワールドに行つてバレーや鬼ごっこをしたことです。今年、全校仲よし会の役員に立候補しようと思っています。

## 安全・安心なまちを推進



訓子府町長  
菊池 一春

皆さま、明けましておめでとうございます。日ごろから町政推進にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年は、民主党が政権党となり、新たな時代の幕開けを予感させる年となりました。景気は依然として低迷し、倒産や解雇など雇用不安が払拭(ふっしょく)できない状況です。

基幹産業の農業を見ましても、天候不順による影響とともに、燃料費や家畜飼料、肥料の高騰も続いており、農業経営は一層厳しい状況に置かれていることに心を痛めています。来年度以降の農業基盤整備事業など農政の方向性がなかなか見えてこないという不安要素も抱えていますが、きたみらい農業協同組合をはじめ関係機関・団体と丸となり、農業の継続的発展に向けて考えています。

財政状況が厳しい中でも、福祉と教育・産業を優先し、行政サービスの低下を招かないようにしながら、全事業の見直しを行い、皆さまにも上下水道料金をはじめとする一部公共料金の値上げなどのご負担をお願いし、自立の道を歩き出すことができました。

皆さまが安全で安心な生活を送るために訓子府小学校校舎などの耐震化工事や定住促進住宅の整備などを実施し、通院にかかるバス運賃の補助、訓子府町ボランティアセンターの設置、プレミアム商品券発行などを関係機関と協力しながら実施できました。新品種の馬鈴薯の販売拡大を展開している生産者グループ、駅舎の遊休スペースを利活用し喫茶コーナーを設け地産地消をめざす商工会関係者、修学旅行でふるさと訓子府町を札幌市民にアピールした中学生など、新しい「町民力」が芽生え、心強く感じています。

平成22年度は、皆さまの足を確保する乗合タクシーシステムをはじめ、子育て支援センターの開設、豊坂水系水道施設の整備、訓子府小学校・居武士小学校体育館の耐震化工事、農業基盤整備の促進など、お約束した「住み慣れた訓子府に住み続けることができ、すべての人に優しいまちづくり」の政策実行に向けて全力で走り続ける決意ですので、ご指導、ご協力をお願いいたします。